

ボランティアコーディネーター ニュース

# 支 援

第93号 2018年5月11日

町田市教育委員会

指導課長 金木圭一

発行：町田市学校支援センター

## 学校支援ボランティアコーディネーター説明会



4月11日（水）に、2018年度学校支援ボランティアコーディネーター説明会が、教育センターの大会議室で開催されました。はじめに指導課の職員紹介の後、八並教育委員から学校支援ボランティアコーディネーター（以下「VC」と記載）への激励と感謝の意を込めたご挨拶をいただきました。また、野田担当課長からも学校の教育活動がVCの活動によって支えられていることへのお礼と今年度もお力添えいただきたいとのご挨拶をさせて

いただきました。続いて新規着任VCを代表して相原小学校の大磯瑞己（みずき）VCに委嘱書が手渡されました。本年度は8名の新しいVCが活動することになります。情報共有とコミュニケーションが重要ですので学校の先生方（特に、副校長及び地域連携担当教員）とVCが密に連携しながら、保護者・地域と学校をつないでいただければと思います。

学校支援センター事業に関する概要については辻統括指導主事からお話いただきました。羽村市のVCの組織についても話しをいただき地区が違えば組織も随分違ふとのことでした。詳細については、ゼネラルボランティアコーディネーター（GVC）から説明がありました。「本市の学校では子どもたちの真の学力、社会や世界にかかわりあい、向き合っている力を身につけさせることを目指して教育活動を進めています。そのためには、すべての子どもがしっかりした基礎学力が身につける学習活動、また、直面する課題の発見・解決能力を身につける学習活動に取り組むことが肝要であると考えています。そのために必要な基礎学力習得の支援、また考え深い学びや豊かな体験活動の支援を、学校のみではなく地域の教育力に依拠して進めようとするものです。VCは学校と地域のつなぎの役割を果たしていただくものであり、学校と地域が協働して子どもを育てる要となっ

ていただくものです。これは、学校のみでできるものより遥かに深く豊かな学びの場を学校に用意する支援であると同時に、学校が地域住民の力を発揮する場となることでもあり、



また地域住民との接触をとおり、地域社会の一員たる子どもたちを育てる場となるものです。さらに、VCを仲立ちに地域住民が支える学校は、地域の子どもに地域の学習を継続的に進める地域の学校となります。こうした学校支援センター事業（地域学校協働本部）の目標の実現に向け大きな原動力となるのがVCです。昨年度から全小中学校においては、年間指導計画に基づく計画的・系統的な地域学校協働活動が展開されております。これをさらに推進していくためにも、しらせる、つなげる、ささえる活動をさらに活発に展開していただきたくお願いいたします。」休憩の後、VCの定型業務、事務処理等についての説明、そして3R推進からの「ごみと環境について」の出前講座の件についての説明、町田税務署・租税教育推進協議会担当課長から小・中校の租税教室の申し込みをしていただきたいとのお願いがありました。東京都の中でも租税教室の申し込みが少ないとのこと、中学生の租税についての作文の応募は東京都の中でも多いそうです。また、FC町田ゼルビアからは「ふれあいゼルビア」学校訪問活動のご案内がありました。スポーツ教室だけでなく、キャリア教育、挨拶運動、学校のイベント等、実施費用は原則無料とのこと沢山の申し込みをお待ちしているとのことでした。説明会の中では今年度から始まる新地区5・6地区の統括VCを代表して鶴川第三小学校、地区統括ボランティアコーディネーター功刀さんから挨拶をいただきました。また、新規VCの方々からも抱負をいただき町田市のVCの方々92名の新たなスタートとなりました。学校、保護者、地域との連携をより強くして町田市の子どもたちのために力を尽くしていきましょう。

開催に当たっては不十分な点もあったかと思いますが、ご不明の点はいつでも指導課・学校支援センターに問合せください。今年度の指導課・学校支援センターは西岡、有賀、岡田の3名がゼネラルボランティアコーディネーター（GVC）及び事務の阿部の計4名で業務を遂行してまいります。よろしくお願い申し上げます

※学校支援センター統括コーディネーター

これからはゼネラルボランティアコーディネーター（GVC）となります。

## VCの関わった活動を寄稿してみませんか

学校支援センターの広報誌に各学校で行っているVCの関わった活動を寄稿していただければ広報誌『支援』ならびに学校支援センターのHPに掲載していく予定です。VCとして学校・地域・保護者をつないだ事例をA4サイズ1～2枚程度にまとめて活動中の画像も添付のうえご応募ください。

各学校で行っている子供。教師にとっても、そして協力してくださった地域の方にとっても満足いく授業になる、その背景にVCの存在があったとしたら、こんな嬉しいことはありません。こうした姿を描きながらVCの活動を計画し推進していきましょう。

## 七国山学校 総合的な学習の時間 6年生 【2月26日(月) 8:40~10:20】

VCの方が6年担任からキャリア教育の講師の手配を頼まれ、児童の要望に応えるかたちで地域の方4人の講師をお願いした。当日は1・2校時の時間を使い、講師との打ち合わせ、全体での話、各講話、終了時の反省会を行った。講師探しから担任との授業の計画、連携と大忙しだったことが想像できます。



2月26日(月)ランチルームに向かうと本日の講師の方々が少し緊張の面持ちで椅子に座っていました。学年主任の方が今日の時間の流れについて説明、始めに全体に講師の方から15分程度の職業の話、何故その職業に就いたのか等興味深いお話がありました。その後各教室に講師の方が1名待機して、児童が希望した講師の方のところに移動するという方式でした。事前に児童からはアンケートを取り人数の配分はほぼ同じ人数となっていました。全体では恥ずかしそうな手のあげ方でしたが各教室ではしっかりと手を挙げて自分の質問をしていました。



○幼稚園の先生は紙芝居を使って自分の仕事の説明をしていました。6年生の中には教えていただいた児童もいました。保育園(保育士)・幼稚園の先生になるためには免許が必要であること等、勤めてからの苦労話、具体的な事柄を通しての体験談など・参加児童は(女子が8割、男子が2割)

○美容師さん 練習台の人形を持ってきて説明、髪洗いの練習の様子、髪を切ることの難しさ、接客の大切さ、など、また自分がどうして美容師になったのかをお話してくれました。(女子が8割、男子が2割)



○町田ゼルビア、元プロサッカー選手 プロになった経緯、どうすればプロになれるか?などの話。印象的だったのは、プロになる決まった方法はないとのこと、そして「努力」の大切さについての話。教室での質問ではかなり辛辣な質問がいくつかとびかいました。



(参加児童は全員男子)



○麻布大学の地域連携室長さんからは、麻布大学には獣医学部と生命・環境科学部があり、大学の教育理念である「地球共生系『人と動物と環境の共生をめざして』」の話。獣医さんだけではなく「食」「環境」「医療」生命科学の分野、動物園の飼育係や動物の世話をする仕事、畜産に就く人も多いとのことなど話していただきました。

(男子・女子同数)

ランチルームに戻った児童はお互いにメモや聞いたことを楽しそうに話をしておりました。6年生全員で挨拶をして総合的な学習の時間(キャリア教育)の時間は終わりました。

講師の方々には活動が終わってからVCの方が司会をして反省会を行いました。講師の方々からは、「初めてで緊張したけど楽しく話せた。」「子供たちがよく話を聞いていた。」「自分のためにもなった」「他校でも要望があれば参加したい」等ご意見・感想をいただき和やかなうちに時間となりました。講師の方々に感謝です。また七国山小学校 VC 黒木・浦崎さんご苦労様でした。

## 【 事務連絡 】

### 1 VC ミーティング予定

#### ◆第1回VC(1・2年のVC対象)

○5月15日(火) 9:30~12:00 会場 市役所2階市民協働おうえんルーム

#### ◆第2回VCパソコン研修(1・2年のVC対象)

○5月24日(木) 9:30~12:00 会場 町田市教育センター2階PC室  
(町田市木曾東3-1-3)

### 2 1学期のVCミーティング 会場は市役所2階市民協働おうえんルーム

○6月6日(水) 9:30~12:00 中学校合同 VCミーティング

○6月11日(月) 13:30~16:00 1・2地区 VCミーティング

○6月12日(火) 9:30~12:00 3・4地区 VCミーティング

○6月12日(火) 13:30~16:00 5・6地区 VCミーティング

○6月13日(水) 13:30~16:00 7・8地区 VCミーティング

○6月15日(金) 9:30~12:00 9・10地区 VCミーティング

### 3 学校支援連絡会

○6月28日(木) 14:00~16:20 町田市役所10階10-2~5会議室

#### ※学校支援ボランティアをお探しの学校様へ

学校支援センターには学校支援ボランティアを希望する大学生・社会人等からの登録が少しずつ届いております。なるべく昨年度末からの要請のあった学校には優先して人材情報データをお送りするようにしています。

現在、おおよそのニーズ(○曜日・○時間・○学年・どのような活動に当たる人が必要なのか)をお知らせください。

